

問4 「立つ」という動詞に注目してエフェソ6:10~20を読んでください。
パウロにとってこの立つという表現は、なぜ重要だったのでしょうか。

私たちは、パウロの用いた軍事的な比喩を、古代の戦場という文脈の中で理解する必要があります。「立つ」(エフェ6:11、13、14)とは、どのような意味でしょうか。この動詞は、防御に徹する姿勢を意味するのでしょうか。戦記文学の偉大な古典作家であるトゥキュディデスの著作にある戦場での演説は、勝利を収めるためには、次の三つの連続した行動をとる必要があることを強調しています。(1)兵士は、「敵に接近」しなければならない。つまり、敵に会うために前進しなければならない。(2)次に、攻撃して、「固く立つ」ようにしなければならない。敵と直接戦って「一步も引かない」。(3)そして最後に、敵を「打ち負かす」必要があります(トゥキュディデス『戦史』より)。

古代の戦いで勝敗の鍵となるのは、上記の二番目の瞬間です。対立する二つの重装備歩兵の密集軍が、「激突する青銅と木部と肉体のひどい不協和音」の中でぶつかり合うときで、古代の作家クセノフォンはこれを「おぞましい粉碎」(ビクター・デイビス・ハンソン『西洋の戦法』152、153ページ、英文)と呼んでいます。この戦略的な瞬間に固く立ち、一步も引かないことは、古代の戦いの大きな挑戦でした。両陣営は、その後続く接近戦で、「押し進む」勢いを求めていました。

パウロの武具を身に着けなさいとの呼びかけは、兵士たちが「一つの塊になり、至近距離で何百もの打撃を与えたり、受けたりする」(同上152ページ)戦いを想定しています。このことは、パウロが教会とその敵との戦いを格闘技にたとえていること(エフェ6:12、木曜日の研究参照)と、13節で「立つ」という動詞に強意語が用いられていることから確認できます。「邪悪な日によく抵抗し、……しっかりと立つことができるように」

これは決してリラックスした状況ではありません。したがって、「立つ」とは、あらゆる武器を使用して接近戦を行い、果敢に戦いに挑むことです。このことは、パウロの以前の勧めにあった「あなたがたは一つの霊によってしっかりと立ち、心を合わせて福音の信仰のために共に戦っており」(フィリ1:27)との軍事的な表現からも明らかです。

ヘブライ12:4を読んでください。この聖句は主にあって立つことの意味をどのように表現していますか。そこには集団的な性質がありますか。